

Bev+RPMI 療法(1週毎)

【投与スケジュール】1コース=56日(8週)

1コース

一般名	略号	投与量	1W	2W	3W	4W	5W	6W	7W	8W
ベバシズマブ	Bev	5mg/Kg	↓ Day1		↓ Day15		↓ Day29			
レボホリナートカルシウム	I-LV	250mg/ m ²	↓ Day1	↓ Day8	↓ Day15	↓ Day22	↓ Day29	↓ Day36		
フルオロウラシル	5-FU	500mg/ m ²	↓ Day1	↓ Day8	↓ Day15	↓ Day22	↓ Day29	↓ Day36		

※レジメンシステム上の休薬完了は14日で設定

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1, 15, 29			
①	生食注シリンジ 10mL	1本	フラッシュ
②	アバステン	5mg/kg	初回 90分 (※1)
	生理食塩液 100mL	1本	
③	グラニセトロンバッグ(3mg/100mL)	1V	30分
	デカドロン(3.3mL/5mL)	2A	
④	レボホリナート	250mg/m ²	2時間
	生理食塩液 250mL	1本	
⑤ (④開始 1時間後)	フルオロウラシル	500mg/m ²	全開で
	生理食塩液 50mL	1本	
⑥	生食注シリンジ 10mL	1本	フラッシュ

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day8, 22, 36			
①	生食注シリンジ 10mL	1本	フラッシュ
②	グラニセトロンバッグ(3mg/100mL)	1V	30分
	デカドロン(3.3mL/5mL)	2A	
③	レボホリナート	250mg/m ²	2時間
	生理食塩液 250mL	1本	
④ (③開始 1時間後)	フルオロウラシル	500mg/m ²	全開で
	生理食塩液 50mL	1本	
⑤	生食注シリンジ 10mL	1本	フラッシュ

(※1)アバステンは初回90分、過敏症状等問題なければ2回目60分、3回目30分と短縮可

催吐性	軽度リスク
組織傷害性	アバスチン:非炎症性 フルオロウラシル:炎症性
代表的副作用	アバスチン >10%…高血圧、蛋白尿、出血 <1%…血栓塞栓症、消化管穿孔、創傷治癒遅延、可逆性後白質脳症症候群
	フルオロウラシル >10%…食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明…心筋虚血、白質脳症

【注意事項】

(アバスチン)

- 初回の投与速度は 90 分投与とし、問題が無ければ、60 分、30 分と短縮可